

研究テーマ: いま抱えている困りごと・苦勞、気になる自分の特徴・クセ

道に迷うこと

の当事者研究

氏名(アノニマス・ネームOK)

さきさん

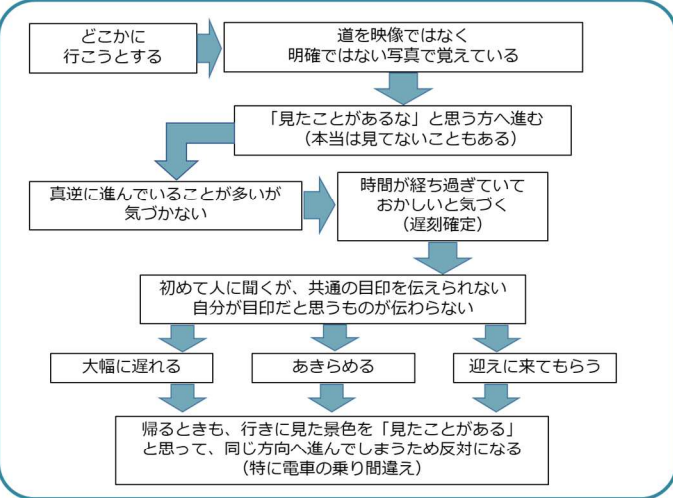
苦勞のエピソード

都内に越して3ヶ月になる。1か月前、一度行ったことがある歯医者に行こうとしたら、降りる駅も間違えて、間に合わず、歯が痛いのにもた来週になった。「一度行ったのに行けない」と、大人として悲しくなって数時間落ち込んだ。

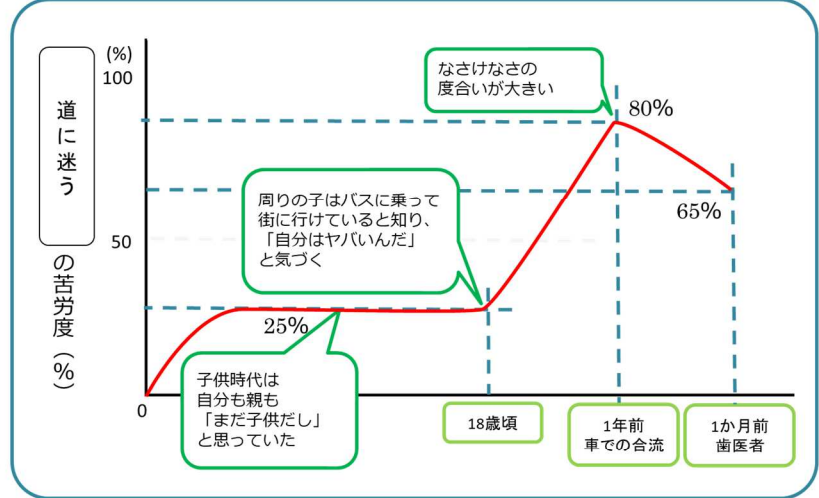
もともと静岡に22年住んでいた。でも全く道を覚えられなかった。「車を運転するようになったら覚える」と言われ、大人になったらできるようになると思っていたのに、「住み慣れた街なのにおかしいだろう」と思うぐらい覚えられない。不便以上に悲しい。生活圏も必ず同じ道を通らないとすぐに迷子になる。冒険できない。

約1年前、静岡にいた時、車で集合することになった。恋人と反対側から合流する。恋人は静岡市街に住んで一年以内なのに彼の方が詳しい。運転しながらパニックになり、「マックがある」と言ったら、「右、右」と言われ、急いで入ったが、「右ってあなたから見て右?」と言ったら「そんなわけないでしょう、あなたの視点で言ったんだ」と言われ、彼は私から見た視点でわかるのに、なぜ私は長年住んでいるのにわからないのか。能力の差が衝撃的だった。

苦勞のパターン



苦勞の年表



①個人的要因 (自分の内側)

(身体・感覚・経験・気持ち・考え方/行動パターンなど)

道って全部同じなのに、名前が付けられても「双子を見分ける」と言われているみたいだと感じる

道の名前を覚えていない国道1号線と南幹線を覚えていけば静岡はいけるが、それも覚えていない

道の名前を覚えても、その道沿いに何があるかはごっちゃになっている



目的地が近づくと、Google地図やナビが、「もうつく」と言って、私をほっぽり出す。「いや、これからでしょう」と思う

方角で言われると、初めからがっくりする。自分が向いている方向がわからない。

②社会的要因 (自分の外側)

(家族・地域・規範・慣習・デザイン・人的/物的環境など)

仲間のコメント

ワークシートを仲間に戻覧して、①～③のうち当てはまるものを、仲間コメントしてもらおう

- ①経験の共有: 自分も似た経験をしたことがあれば、その経験について
- ②自分助けの共有: 自分が似た経験をしたときにどんな対処法をとったか
- ③質問

私も左右盲がおそらくある。右と左は正反対なのに間違えてしまう。電車を降りた瞬間、自分が向きたい場所に行くには右か左かわからず人に聞く。駅員を探すがルーティン。できるだけ何度も行く場所は同じ車両、同じ席を選んでいる。
[記録者名: しょこら]

私も写真、見た目で道を探るときが多い。でも迷うことはほとんどない。何が違うんだろう。見たことがある景色の方へいくことはそんなにない。来た方角、地図を見る。グーグル地図。知らない場所へ行くときは道の名前もわからないが、これだけは押さえようと思っているのは、「今いる場所」と「向いている方角」と「目的地がどちらの方角にあるか」。この3つ。写真っぽい頭だが、感では行かない。
[記録者名: あおの]

自分にも当てはまるので面白かった。『発達障害当事者研究』で、「心のシャッターでパシャパシャ撮る」とあったが「迷子になる」とは書いてなかった。私は迷子になりまくる。京都は道が暮雲の目だが、道の名前が独特過ぎる。ごちゃごちゃ。「わかりやすい」と言われているが間違える。スマホだけでなくコンパスを利用している。方角がわかる。
[記録者名: マコト]

道が不得意とは思ってなかったが、私もかも。早く行くようにしている。うまくいくとまちぼうけ。それでも早くいかないと、間違えると逆方面に歩いてしまう。GPS、ストリートビューは助かる。建物の感じまで見ておく。地図と実際の景色の橋渡しがうまくいってない。地図とカナビの道の形と実際の道に対応させるのに時間がかかる。
[記録者名: yurari]

時間がギリギリになって困ることが多い。電車なら「降りた後どう行けばいいか」を電車を降りるまでにしつこくくらいインプットし、シュミレーションするはめになる。それでも間違えることもあるが、私はシュミレーション疲れのことが多い。
[記録者名: mizu]

地図を見て全体を掴んでから行くと割と大丈夫なタイプ。しかし、「ちょっとここ行ってみよう」と知らない場所でグーグルマップで行くと逆方向へ行く。子どもの頃から通勤通学の際、単純なルートで好んで選んでいた。
[記録者名: sky]

実験計画 明日からでもすぐに試せるようなハードルが低く、具体的な行動を考えてみよう

地図がやっぱり読めない。回さないとわからない。地図と実際の道が一致させるのに時間がかかる。今いる場所が地図だとどこかわからない。実際の景色とあまりにも違いすぎる。なぜこんなシステムでみんなやれてるんだろう。「ここにマック」とあっても、地図上には確かにあるが、見てもない。しかし人に聞くとある。ものを探すのが苦手かも。マックのイメージが一個だけ。自分が子供の頃初めて行ったマックのイメージだけ。地図で言われても、イメージと一致せず、ないことになる。

コンパス機能を使っているというのが気になった。メリットがあるかもしれない。